

報道関係各位

2025年12月23日

BYD Auto Japan 株式会社

BYD、新エネルギー車で累計生産1,500万台を達成 海外販売は前年実績を超過、累計研究開発投資は4.5兆円を突破

- 1,500万台目の新エネルギー車（以下：NEV）を「DENZA N8L」でラインオフ
- DENZAブランドはアジア、欧州、中南米へ事業進出を拡大
- 「DENZA D9」が東南アジア諸国の高級MPV市場で販売首位を獲得



BYD（本社：中国・広東省深圳、会長兼社長：王伝福）は2025年12月18日、中国・山東省の濟南工場にて、新エネルギー車（NEV）の累計生産1,500万台達成を祝うラインオフ式典を開催しました。2025年10月にブラジル工場で1,400万台を達成してから、わずか2カ月での大台到達となり、当社のグローバル生産体制と市場需要の急速な拡大を象徴する節目となりました。記念すべき1,500万台目としてラインオフしたのは、優れた安全性能と快適性を誇るプレミアム・フルサイズSUV「DENZA N8L」です。同車両はN8Lモデルとしても、累計生産15,000台目の節目を飾る一台となりました。

■ 海外市場が牽引する堅調な業績

2025年、BYDの販売実績はグローバル市場で極めて堅調に推移しています。1月～11月の累計販売

台数は 4,182,000 台（前年同期比 11.3% 増）を記録。

海外展開：海外販売台数は 917,000 台に達し、すでに 2024 年の年間実績を超過しました。現在、当社の NEV 製品は世界 6 大陸、119 以上の国と地域で展開されています。

■成長の源泉となる技術革新への注力

「技術を基盤に、イノベーションを原動力に」という経営理念のもと、BYD は積極的な研究開発投資を継続しています。

研究開発費：2025 年第 1～3 四半期に 437 億 5,000 万人民元（約 9,000 億円*）を投入（前年同期比 31% 増）。

累計投資額：研究開発への累計投資額は 2,200 億人民元（約 4.5 兆円*）を突破。バッテリー技術、ソフトウェア、製造プロセスの高度化を通じ、業界のリーダーシップを堅持しています。



■ プレミアムブランド「DENZA」のグローバル戦略

「Elegance, Innovation, Technology」を掲げる高級ブランド「DENZA」は、アジア、欧州、中南米へと急速に販路を拡大しています。

市場シェア：MPV モデル「DENZA D9」は、2025 年上半期にインドネシア、タイ、マレーシア等の主要市場で高級 MPV 販売首位を獲得しました。

欧州・中南米展開：各地の国際モーターショーへの出展を皮切りに、プレミアム市場における電動化

(電化シフト) を加速させています。



デンザ D9：サンパウロ国際モーターショー出展の様子

【BYD（比亜迪/BYD Company Limited）について】

1994年に充電式バッテリーメーカーとして設立。現在は自動車、軌道交通、新エネルギー、エレクトロニクスの4事業を展開し、世界6大陸・110以上の国と地域・400以上の都市でゼロエミッションエネルギーソリューションを提供。香港と深圳証券取引所に上場、フォーチュン・グローバル500企業。詳しくは <https://www.bydglobal.com> をご覧ください。

【BYD Autoについて】

2003年設立。純電動車およびプラグインハイブリッド車の開発に特化し、バッテリー、電動モーター、パワーエレクトロニクス、車載半導体といった新エネルギー車の全バリューチェーンで中核技術を保有。ブレードバッテリー、DM-i/DM-p/DMOハイブリッド、e-Platform 3.0、CTB構造、DiSusインテリジェントボディコントロールシステム、Xuanjiアーキテクチャなど革新的技術を次々と実用化し、世界で初めて化石燃料車の生産を停止した自動車メーカーとなっています。

【DENZAについて】

「Elegance, Innovation, Technology」を掲げるDENZAは、2010年にBYDとメルセデス・ベンツの共同出資により設立され、2024年にBYDの完全子会社となりました。「テクノロジーでラグジュアリーを再定義する」という信念のもと、ユーザーと共に未来を創るプレミアムブランドです。

DENZAは「ビーアークル・インテリジェンス」戦略を軸に、MPV、SUV、セダンの全カテゴリーで豪華ラインナップを展開。独自技術プラットフォーム「e³（イーサンファン／易三方）」を搭載し、進化し続ける新たなラグジュアリーエクスペリエンスを世界中のファミリーへ提供しています。

【参考資料】本資料はBYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースを日本語に抄訳したものです。

本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については当言語が優先します。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2025年12月23日（火）現在の情報です。
内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

本件に関するお問い合わせ :

BYD Japan Group お問い合わせフォーム : <https://byd.co.jp/contact/>

報道関係お問い合わせ

BYD Japan Group 広報部 担当：池畠・吳・張・倉持
Tel : 045-620-9788 / Fax : 045-624-8271 / Email : japanpr@byd.com